

黒木西

黒木西小

学校だより

文書:校長 齋藤英義

令和4年11月25日(金)

NO.40



ウサギとカメラ

PART II

卒業を見据える!



前回、童話「ウサギとカメラ」について書きました。が、その通信作成の合間を見て、校長室で打ち合わせを行っていた時のことです。中休みに、校長室をノックする者あり。「どうぞ。」と声をかけると5年生のAさんが訪問してくれました。Aさんには、校内でよく声をかけますが、校長室を訪問してくれたのはこれまでに初めてでした。「どうしたの?」と尋ねると「今日は、校長先生にお願いがあつて来ました。」とのこと。

子細は以下の通り。

入学してこれまで、ずっと年間を通して、半袖・半ズボン・裸足で過ごしてきたが、最近、多くの先生方から上靴を履くようにと声をかけられることが多くなったとのこと。「自分は、卒業までずっと半袖・半ズボン・裸足で過ごしたいんです。先生方に、校長先生からも伝えてもらえませんか。」ということでした。確かに、校則で明文化されてはいませんが、安全上の配慮から、上靴を履くように推奨はしていません。Aさんとのやり取りの途中で、「ウサギとカメラ」の話が頭をよぎりました。「ウサギとカメラとAさんでは、見ているところが違った…」ウサギは、カメラを見て、カメラは、ゴールを見ていた…Aさんは2年後の卒業を見ていた。



将来を見据える日(芽)

先日(21・22日)、コロナ感染症により2年間中止していた、4・5年生の「ふれあい体験学習」を3年ぶりに実施しました。当初は、9月初めに計画していた行事でしたが、この時はコロナの感染拡大防止のためやむなく延期し、今回の実施となりました。2年間の中止を機に内容を見直し、二日目の行程を大きく変更しました。

この行事を通して、子どもたちの将来の夢が広がる体験活動を取り入れることができないかとの思いから、「夢をみつける街」をテーマに本年7月31日に開業した、こどもの職業・社会体験施設「キッズニア福岡」での活動を取り入れることにしました。



九州の地元企業をはじめ、さまざまな企業が出展する約50種類のパビリオン(お店・工場・公共施設など)で構成され、本物の機材や食材、ユニフォームを用いた約70種類のリアルな職業を体験することができるとのことです。

ぼくは、ビジネスインフォメーションセンターとウェブデザイナー、お仕事紹介のアクティビティを体験しました。どのアクティビティも本物の仕事みたいで楽しかったです。

キッズニアでの体験のおかげで、どんな仕事があるかを自分で調べられることが分かり、大人の人にたよることが減るように思いました。

アクティビティでは、SDGsについて学んだり、社会問題について学んだりしました。そのことで今、起こっている社会問題を解決できるようになものも調べたり作ったりする仕事をしたいです。

4年

キッズニアでは色々な職業が体験できるので、どれに行こうかまよいました。1つ目は靴工場に行き、職場の人に説明を聞いて、靴をデザインするのが楽しかったです。2つ目は食品開発センターに行きました。私は子どもが好む味を調べたり、マイナス5.1Cの水を氷にかける実験をしました。

今回、体験したこと、どの職業もたくさんの方がいろいろなことを話したり、考えたりして、ものづくりをしていることがわかりました。

今回の職業体験を活かして、これからは学級のみならず力を合わせて、いろいろなことをやりとげて、頑張りたいです。



5年

楽しみながら学ぶ中で得られた気づきが、「生きる力」を育み、将来を見据える日(芽)となり、今後の希望につながることを期待しております。

